

Stage21 「幌馬車くん」

牽引免許不要 災害用トレーラー

キャンピングカーの製造販売を手掛けるStage21は、牽引免許がなくても車で引っ張ることができる災害対策用トレーラー「幌馬車くん」を開発した。災害時の利用を想定して物資の輸送だけでなく、備蓄倉庫としても活用できる。屋根にはソーラーパネルを搭載し、ライフラインが復旧するまでの電気を使うための拠点にもなる。7月中の発売を予定。価格は106万9200円から。初年度は100台の販売を計画している。

幌馬車くんは、自動車や航空機、建築物などに幅広く用いられている繊維強化プラスチック（FRP）製。災害時にもがれきりの中を走れるよう、大きさを



災害用だけでなく多用途に活用できるトレーラー「幌馬車くん」

コンパクトな軽自動車サイズに収めた。車体の重さは250kgで、女性でも手で引っ張れる。最大積載量は350kgで、2%のペットボトル約170本を積める。積み荷を満載にしても総重量が750kg以下なので、牽引免許が

なくても普通免許さえあれば動かせる。

ソーラーパネルで発電した電気は蓄電して、安否連絡用の携帯端末の充電や、情報収集のためのテレビも視聴できる。またテレビやラジオの中継車として

も使える。

東日本大震災発生後、同社が加入する業界団体の日本RV協会が被災地にキャンピングカーを貸し出した。霜田勝美社長も会社として協力できないかと考えた末、普通免許があればだれでも取り扱うことができるトレーラーをつくることにした。

また、震災の影響による輪番停電で不自由な思いをしたことから、自家発電で電気がまかなえるよう200Wソーラーパネルを搭載した。より大きな電力が得られるよう別売りで400W風力発電機を接続することもできる。昨年4月から製作に着手し、さまざまな試行錯誤を繰り返して、12月には試作品を完成させる。

イベントなどで災害用トレーラーとして展示すると、震災以降の防災への関心の高さもあり、多様な反響が寄せられた。自治体の防災担当部署のほか、

医師会からは巡回診療所として、またトイレカーや衛星の中継局としての用途での問い合わせもあった。

災害用だけでなく、「かわいくて目立つので客寄せに最適」ということから、移動販売店舗用としても注目されている。

霜田社長は「想定していた以上に用途が多様で驚いている。顧客からの提案にできるだけ応え、活用の可能性を広げたい」と話している。

（佐竹一秀）

■会社概要

- ▷本社—相模原市中央区上溝2256—1
- ▷設立—1981年9月
- ▷資本金—2300万円
- ▷従業員—15人
- ▷事業内容—キャンピングカー、トレーラーなどの製造・販売